

IV

いつも笑顔で健やかに つながり 100倍ひろげよう

一人ひとりが、いつまでもその人らしく、
いきいきと暮らせるよう、
お互いを尊重し、助け合いながら、
あたたかく包み込む“大家族”を創っていきます。

▶ 基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

目標(13)

一人ひとりを認め合い、その人らしく暮らせるまちづくりを進めます

目標達成に向けての考え方

今、地域の中には、「近所に知り合いがいない」、「行き場がない」、「独り暮らしで病気になったときは不安」といった問題を抱え、地域で孤立する人が増えています。地域・事業者・関係機関と連携して、誰もが住み慣れた地域で、その人らしく、安心して心豊かに暮らせるまちづくりを進めていきます。

- ◆ 一人ひとりが福祉を身近なものとして捉え、主体的に関わることができるようにするためには、福祉に対する理解を深め、担い手を育成することが重要です。
- ◆ 障がい等のある方との交流機会を通して、障がい等への理解を深め、地域共生のまちづくりを進めていくことが大切です。
- ◆ 支援を必要とする人が、自立し安心して暮らせるようにするためには、助け合いの基盤をつくる必要があります。
- ◆ 暮らしの中で生じる様々な課題やニーズにきめ細かく対応ができるようにするためには、相談体制を充実させ、自立に向けた取り組みが欠かせません。

こんなことに取り組みます！

- ★ 子どもの育ちを一貫して見守り、支援するため、こども発達センターを関係機関と連携して設置します。
- ★ チャレンジド*の「働きたい」の実現に向け、支援体制を整えます。
- ☆ 「高浜市地域福祉計画」に基づき、「つながり、支えあい、安心のしくみづくり」を進めます。
- ☆ 地域や当事者などが連携して福祉イベントを創出するなど、福祉に対する理解を広く促進するとともに、顔が見える関係づくりを行います。
- ☆ 手助けが必要な人に対して、地域や関係機関と連携して、各々の事情に合った適切な支援や相談を受けられる体制を整えます。

*チャレンジド…障がいをもっていることにより、挑戦する資格と機会を与えられた人

MEMO

目標が達成された姿

- ◇ まちのあちらこちらで気軽にあいさつを交わしたり、交流やふれあいの光景が見られます。
- ◇ 多くの市民が、地域での支え合いの担い手として活躍しています。
- ◇ 障がい等のある方と障がい等への理解を深めた市民が、地域でともに支えあい、誰もが住み慣れた地域で、その人らしくいきいきとした生活を送っています。
- ◇ 地域や関係機関と連携し、ともに支えあっていく福祉のネットワークづくりが進んでいます。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値	目標値 (2013)	指標の 目指す方向
1) ボランティアひろばセンター登録数 (人口1万人当たり)	385人	470人	
2) 不安や悩み事を身近に相談できる人 や場所があると思っている人の割合	76.9%	80%	
3) 地域で高齢者や障がい者等の見守り や生活の手助けをしている人の割合	26.5%	30%	

市民会議の声

- ・ 福祉＝人とのふれあい、思いやりの行動だよ。
- ・ 人の温かさに触れたり、感じたりすると福祉の芽がすくすく育つよ。
- ・ スポーツやお祭り、いろんなイベントで人とつながることを楽しむことも福祉だよ。
- ・ 人を思いやったり、気遣ったりして「おたがいさま」に支え支えられて暮らすことが福祉でしょ。
- ・ まちの安心・安全を考えたら、身近な人と交わることって、とっても大切。
- ・ まずは、「あいさつ」で人とのつながりをひろげることが、一番大切にしなければいけない福祉だよ。
- ・ 「障がい」や「高齢」って福祉をひろげるカテゴリーではあるけど、普段の暮らしの中でいろんな人とふれあっていくことも福祉じゃないかな。
- ・ 福祉を特別なものにしないで、人にやさしいまちづくりにつなげられたらすてきだね。

MEMO

▶ 基本目標Ⅳ いつも笑顔で健やかに つながり100倍ひろげよう

目標(14)

一人ひとりの元気と健康づくりを応援します

目標達成に向けての考え方

誰もが健やかに生きがいを持ち、はつらつと生活していくためには、何よりも健康が大切です。健康は自分で作り、守るものですが、個人の健康を支援する地域、事業者、関係機関の役割も重要であることから、ともに健康づくりをバックアップしていきます。

- ◆ 食生活の改善など生活習慣病にかからないための正しい知識を身につけたり、運動機能の維持・向上に努めるなど、病気や要介護の状態を未然に防ぐ一次予防に重点を置き、健康寿命対策に取り組むことが重要です。
- ◆ 一人ひとりが予防から治療まで一貫した健康管理を行うためには、自分の健康について何でも気軽に相談できる「かかりつけ医」を持つことが大切です。
- ◆ 認知症高齢者や単身高齢者、高齢者世帯など、支援を必要とする高齢者の増加に対応するためには、住み慣れた地域で自分らしく暮らせるサービスを、地域とともに充実していくことが必要です。

こんなことに取り組みます！

- ★ 「シニア大学」などの学習の機会の提供や、高齢者の健康づくりやボランティア活動に対する新たな支援制度を構築し、生きがいと健康づくりを応援します。
- ★ 地域密着型施設など、高齢者の実態を踏まえた介護サービスを提供します。
- ☆ 「健康たかはま21」に基づき、市民一人ひとりのライフステージに応じた一次予防や要介護対策、健康づくりを進めます。
- ☆ 健康づくり推進委員や地域の様々な団体が推進役となって、ウォーキング、健康体操・運動、講座といった地域での健康づくり活動を広げます。
- ☆ 生涯を通じて健全な食生活を実践し、自らの健康を守るため、学校や地域などあらゆる場所や機会を通じて、食育を推進します。
- ☆ 医療機関それぞれの役割分担のもと、連携を促進し、地域医療体制を充実します。

MEMO

目標が達成された姿

- ◇ 健康や介護予防に関する知識が身についています。
- ◇ 毎日、健康づくり活動が地域で展開されています。
- ◇ 一人ひとりが「かかりつけ医」を持ち、自分の体質・体調・病気について相談することができます。
- ◇ 健康診査受診率が向上し、早期発見・早期治療ができ、健康寿命が伸びています。

みんなで目指すまちづくり指標

目標の達成度を計る指標	現状値	目標値 (2013)	指標の 目指す方向
1) 日常的に運動やスポーツを行っている人の割合	34.3%	40%	↗
2) 栄養や食生活に気をつけている人の割合	80.2%	83%	↗
3) かかりつけ医を持っている人の割合	68.4%	72%	↗



市民会議の声

- ・ 子どもの健康は親の責任でもあるよね。
- ・ 忙しい若い人ほど、健康に対する意識が必要だよね。
- ・ 高齢者には健康だけでなく、生きがいも大切だよね。
- ・ 普段からかかりつけ医との信頼関係を築くことは大切だよね。

MEMO

MEMO